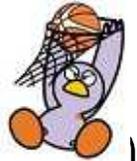


平成20年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会
第61回全国高等学校バスケットボール選手権大会

彩夏到来 08 埼玉総体



平成20年7月29日(火) 一回戦

Aコート 第5試合 深谷総合体育館(深谷ビッグタイトル)

チームA	50	$\left. \begin{array}{l} 10 - 27 \\ 9 - 22 \\ 14 - 29 \\ 17 - 42 \end{array} \right\}$	120	チームB
県立豊浦 山口				福岡大学附属大濠 福岡

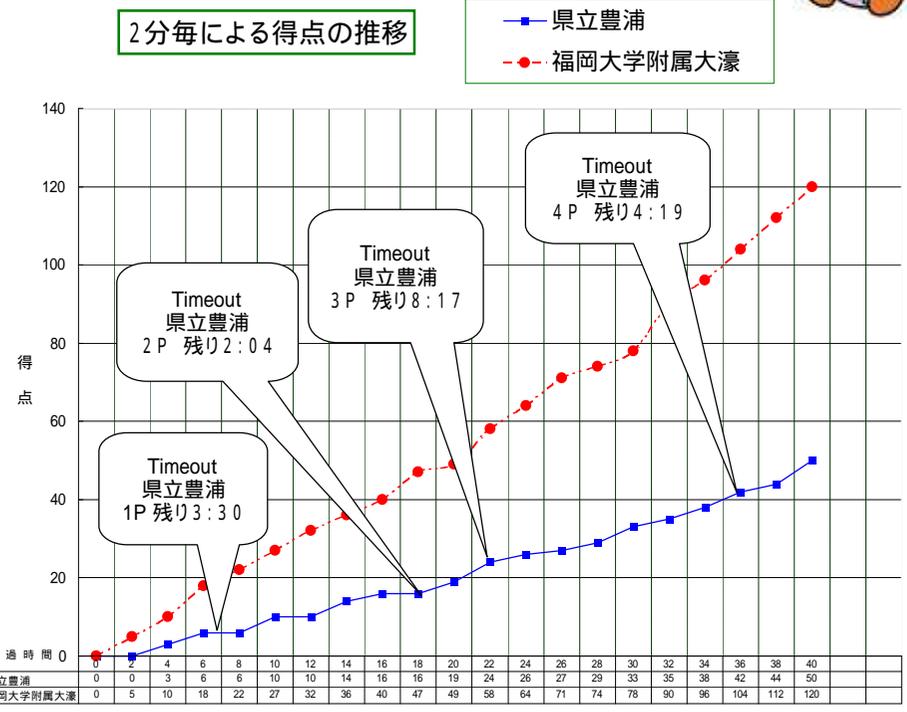
県立豊浦

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	原 幸太郎	X	0	0	2	0	1	0	0	2	3	2	6	0	0	0	20
5	田中 亮輔	/	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	3
6	岡田 時	/	3	0	0	0	0	3	4	1	0	0	3	0	0	0	2
7	林 嘉宏	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
8	大下 亮介	/	1	0	1	0	0	1	2	2	0	0	1	3	0	0	14
9	白川 真	X	8	0	0	4	10	0	0	2	4	3	5	2	0	2	35
10	田中 裕也	X	6	2	6	0	4	0	0	2	0	0	3	1	0	0	26
11	明石 良	/	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5
12	三戸 陽紀	X	21	2	9	7	12	1	2	4	2	2	2	2	1	0	40
13	原田 凱人	/	0	0	0	0	2	0	0	3	0	1	1	0	0	0	17
14	清水 翔平	X	11	0	11	3	11	5	7	4	0	2	12	3	3	0	38
15	山崎 旭洋	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
コーチ	中村 浩正	/	/	/	/	/	/	/	/	0	5	8	/	/	/	/	/
出場: ×は先発、/は出場			50	4	29	14	41	10	15	22	14	19	33	11	4	2	200
確率			13.8%	34.1%	66.7%	計 33											

福岡大学附属大濠

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	大下 内仁	X	16	0	0	7	9	2	2	0	5	4	2	1	0	0	30
5	下釜 康輔	/	0	0	1	0	1	0	0	2	2	1	1	1	1	0	6
6	大塚 勇人	X	12	0	3	4	5	4	4	0	0	8	3	3	7	0	29
7	上野 翼	X	14	0	2	7	10	0	1	2	1	0	1	3	5	0	17
8	岸 翔太郎	/	13	1	2	4	5	2	2	0	1	0	2	5	1	1	12
9	二宮 弘憲	X	18	0	0	8	13	2	5	4	4	8	1	3	0	1	27
10	長谷川 智伸	/	12	1	3	4	5	1	2	3	1	2	0	1	0	1	15
11	永野 俊輔	/	8	0	0	4	7	0	0	3	3	2	2	0	0	1	13
12	水口 雅也	/	5	0	0	2	3	1	2	1	1	1	2	0	0	0	6
13	花田アマーシイ真平	/	7	0	0	3	5	1	2	0	0	4	4	3	1	0	10
14	矢嶋 瞭	X	14	2	9	3	4	2	4	1	2	1	0	1	1	0	12
15	藤原 宏伸	/	1	0	1	0	2	1	2	2	1	0	1	2	1	0	23
コーチ	田中国明	/	/	/	/	/	/	/	/	0	1	3	/	/	/	/	/
出場: ×は先発、/は出場			120	4	21	46	69	16	26	18	22	34	19	23	17	4	200
確率			19.0%	66.7%	61.5%	計 56											

2分毎による得点の推移



戦評
昨年度インターハイ準優勝で、今年こそは優勝と気合十分の福岡大大濠と粘り強い守りと確実な攻撃で対抗したい豊浦との一戦。
第1P豊浦は2-3のマッチアップゾーンと、24秒を目一杯に使って攻める作戦。対する福岡大大濠は厳しいマンツーマンから速い展開に持ち込む。豊浦は#12三戸の3Pシュートが2本入ったもののその後はシュートが決まらず、福岡大大濠は#6大塚を起点に速い展開から#4大下内、#7上野の速攻、#9二宮のリバウンドシュートと自分たちのリズムで攻める。
第2P豊浦は3クォーターからの2-1-2ゾーンといくつかのセットプレイを使って攻めるが点が伸びず、点差が開く。
第3P豊浦は#12三戸の1対1、#10田中の3Pシュート、#9白川のゴール下などで加点するも、その後は点が入らず、福岡大大濠は、#6大塚の速攻、#9二宮のゴール下、#14矢島の3Pシュートとバランス良く点を取っていく。
第4P福岡大大濠はメンバーを交代しながらも流れを変えることなく激しいディフェンスから速攻で攻め切り、豊浦は最後オールコートマンツーマンであきらめることなく頑張った。終始福岡大大濠が自分たちのリズムで試合を進め快勝。

主審	茂泉 圭治	副審	北島 寛臣	戦評	高橋 努 (埼玉県高体連)
----	-------	----	-------	----	---------------

3P: スリーポイントシュート, 2P: 2ポイントシュート, FT: フリースロー, OF: オフェンス, DF: ディフェンス, TO: ターンオーバー, ST: スティール, AS: アシスト, BS: ブロックショット